

『蓬萊竜太書き下ろし作品』 参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

<蓬萊竜太作品>

2007/2008 SEASON **まほろば** (2008.7) ※戯曲、上演台本もあり。

それは縁に囲まれた村の祭りの夜。面々と続く「本家」の居間に集った、世代の違う6人の女たち——母として、娘として、そして女として、彼女たちに迫られる選択——「生命」と向き合い、語り合う、とある一夜の物語……
蓬萊竜太の新国立劇場初上演作品。

<鈴木裕美演出作品>

2007/2008 SEASON **たとえば野に咲く花のように** (2007.10)

廻り巡る片想いの連鎖 一方通行の四角関係の結末は——？恋に翻弄される人間の愚かさと滑稽さを描く“大爆笑の大悲劇”。鈴木裕美の新国立劇場初演出作品。

参考図書

<蓬萊竜太の他の戯曲>

世界の中心で、愛をさけぶ 蓬萊竜太/TBS 2005年発行

原作は2001年発売、翌年ブレイクし04年には国内小説最多記録を更新したベストセラー。05年に舞台化されるにあたり、蓬萊竜太が脚本を担当し、高校時代に焦点を当てた設定、瑞々しい台詞、原作のキャラクターを膨らませたオリジナルエピソードと、この舞台ならではの全く新しい“セカチュー”を生み出した。

<鈴木裕美の戯曲>

蠅取り紙—山田家の5人兄妹 飯島早苗、鈴木裕美＝著/吉夏社 2008年発行

「お母さん、ハワイから日帰りですか？」ハワイにいるはずの母が、朝起きたら家にいた。脛に傷持つ、いいトシした、山田家の5人兄妹が三途の川を渡りかけている母を、必死で引きとめようとするのだったが…ある意味すごく怖いけど、笑っちゃう幽霊が出てくる話。

法王庁の避妊法<増補新版> 飯島早苗、鈴木裕美＝著/論創社 2007年発行

昭和5年、一介の産婦人科医荻野久作が発表した学説は、世界の医学界に衝撃を与え、ローマ法王庁が初めて認めた避妊法となった。「オギノ式」誕生をめぐる、荻野センセイと彼をとりまく人々の愛らしくも滑稽な物語。

ソープオペラ 飯島早苗、鈴木裕美＝著/論創社 1996年発行

1992年に自転車キンクリートで初演した「ソープオペラ」を1995年8月に改訂再演した戯曲で、ニューヨークに駐在する3組の日本人ビジネスマン夫婦と、彼らを訪ねて日本からやって来た2組の夫婦の物語。